

保全活動日記

実施日 2021 2/7 (SUN)	時間 10:00-12:00	天気 晴れ	参加人数 35 人
-----------------------------	-------------------	----------	-----------------

信太山丘陵里山自然公園では、多様性の高い二次草原の復元をめざして環境保全活動に取り組んでいます。
今回は、東側エリアの竹林の伐採と、草原のネザサの刈取りを行いました。



午前：東側エリアの竹林の間伐 ※※ 活動場所・内容 ※※

タケは拡大すると他の植物を被圧します。その結果、生物の多様性が低下する恐れがあります。公園協議会ではこれまでタケの拡大を防ぐために間伐を行ってきました。昨年、約120年周期といわれる花が咲き、その後一斉に枯れ始めました。今回は枯れたタケの除去作業を行いました。



ハチクの花 (2020.1 撮影)

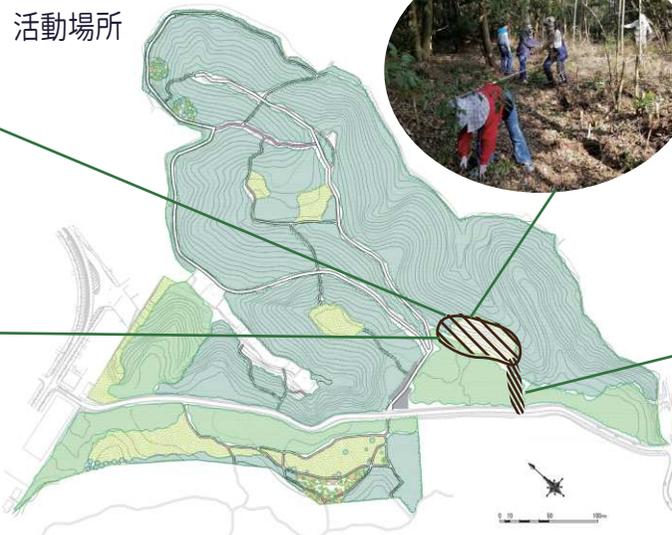


タケは枝を払ってから一か所に集めます。斜面の下から上へ運ぶ作業は大変です。

今後、これらのタケは、公園の案内板などに有効活用していく予定です。



タケの枝は丁寧に取り除きます。



before



after

ハチク林に隣接する園路の草刈も行いました。

園路の柵づくり

先月に引き続き、春から秋にかけて小さな花が咲く山野草等を眺めて楽しむよう、園路の柵づくりを行いました。柵の素材は、前回評価の高かった丘陵地の自然の景観に合う木杭を使用しました。約30分で約70mの区間をつくることができました。残りあと約400mです。



湿地の補修

カスミサンショウウオの産卵場所となる湿地の環境づくりの報告です。

谷筋にある水田跡の湿地の最下段で水が漏れている箇所に防水シートを張り付けました。(写真下)

その後、水が溜まった湿地の様子です。(写真右) 今後も経過を観察していきます。



防水シート張付作業 (2021.01.19)



カスミサンショウウオが産卵しやすいよう、アラカシの枝で水面を覆っています。

信太山里山講座

信太山里山講座は、国の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令に基づき、2月以降中止となりました。信太山里山講座は、令和2年度受講した単位を令和3年度以降に持ち越すことができます、令和3年度以降も皆さんふるってご参加ください。

なお、今回講座に参加された受講生の方から、クラフト実践講座で作ったつるかごの使い方の例として多肉植物のアレンジメントをご紹介いただきました。

つるかごを使った
多肉植物のアレンジメント



信太山丘陵里山自然公園の自然を講師の本藤氏(前)暮らしに取り入れる素敵な作品です。と受講生(後)

環境保全活動ミーティング開催



環境保全活動後、活動場所でミーティングを行っています。今後の保全活動計画の検討や柵づくり、サインづくりなども行う予定です。

申込の必要はありません。ぜひご参加下さい。

信太山丘陵里山自然公園

新型コロナウイルス感染防止対策

- 三密(密閉、密集、密接)を避けること。
- 原則として、マスクを着用すること。ただし、熱中症対策に配慮し、「水分」をこまめにとり、「塩分」をほどよくとること。また、活動中に苦しくなった場合はマスクを外して活動するまたは休憩すること。
- 必ず軍手を着用し、活動前・後の必要に応じて、準備したアルコール等の除菌液・シートにより手の消毒を行うこと。
- 草刈機、カマ、剪定鋏などの道具や拡声器など、他の人が触れる可能性のある物には除菌シートにより消毒を行った後、再度使用するよう心掛けること。
- 新型コロナウイルス感染症の症状の疑いがある時、或いは体調がすぐれず、咳やくしゃみ、発熱がある時は活動に参加しないこと。

▼「信太山丘陵里山自然公園」について

の詳しい情報は、市のホームページをご覧ください。

以下のワードで検索 /

信太山丘陵里山自然公園

検索



◀ QRコードで読み取り